

豊川ごみ減量かわら版

世界でも問題になっています「海洋プラスチックごみ」

海洋プラスチックごみとは

海洋プラスチックごみとは、捨てられたプラスチックが適切に処理されずに海まで流れついてしまったプラスチックごみのことを指します。

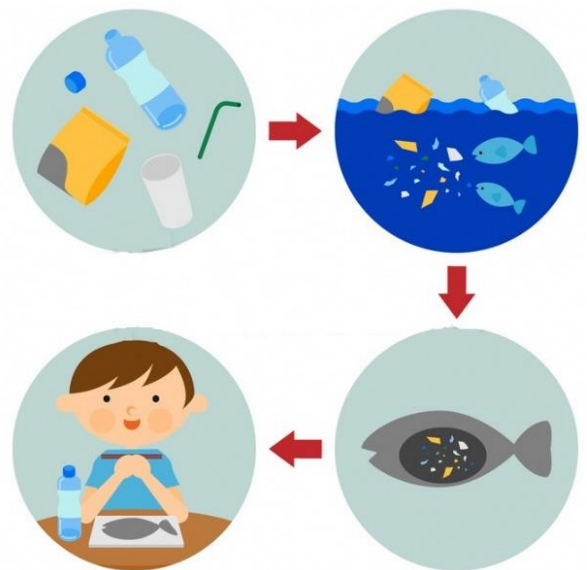
今、この海洋プラスチックごみが世界全体で問題として、話合われています。



なぜ海洋プラスチックごみが問題なのか

海洋ごみに絡まったり、餌と間違えてプラスチックを食べてしまうことが原因で、海の生物が傷ついたり、死んでしまうという例が多数報告されています。特に問題となっているのは、プラスチックは容易には自然分解や消化されないことです。実際に体内からプラスチック片が検出された魚や貝が見つかっており、魚を食べる私たちも食事を通じて体内に取り込んでいる可能性があります。また、プラスチック片は有害物質を吸着しやすいという特徴をっており、これが人体や生態系にどんな影響を及ぼすかまだ解明されていません。

このまま海洋プラスチックごみの量が増えていくと、決して楽観視はできません。



海洋ごみの素は陸上から

海洋プラスチックごみのほとんどは海で発生したものではなく、陸上から川や排水溝をつたって海へ流れ着いたものと言われています。

普段の生活の中で、海洋プラスチックごみを増やさないためにできることに取り組みましょう。

・ポイ捨てをしない、また、地域の清掃活動に参加しましょう

ごみが海へ流れるのをふせぐことができます

・使い捨てプラスチックをなるべく使用しないようにしましょう

たとえば、買い物するとき、マイバックがあればレジ袋を使わなくて済みます